

# ICTを活用した 分野横断フォーラム型授業の提案

市民性の涵養を目指した法政策フォーラム型授業モデル  
神奈川大学 中村壽宏

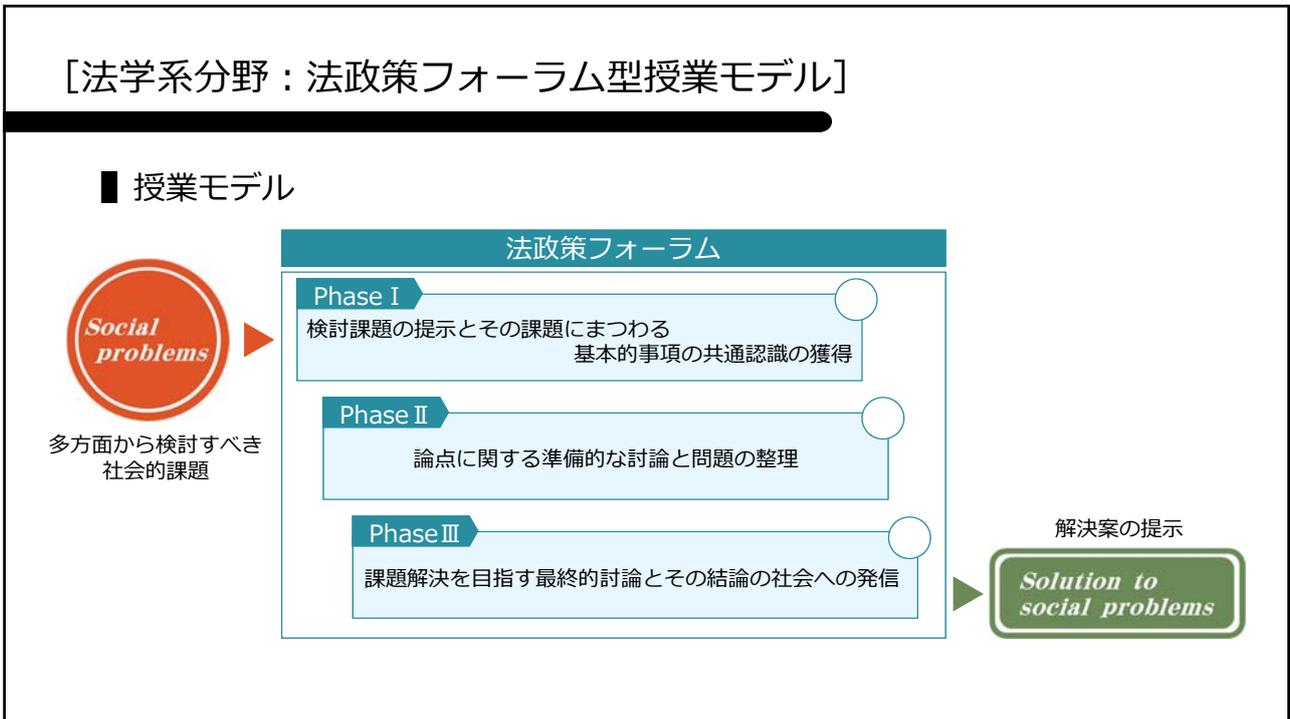
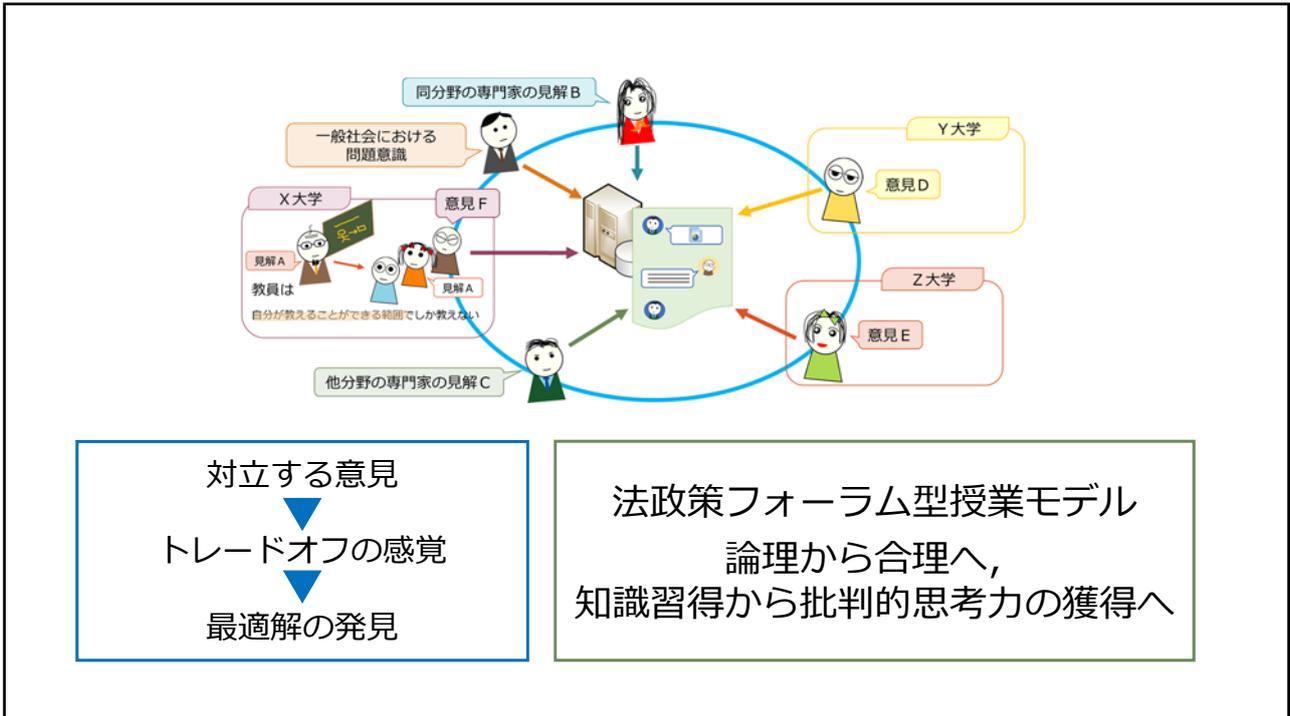
# 2017

## [法学系分野：法政策フォーラム型授業モデル]

### ■ 概要

#### 【授業モデルの目的】

すべてを一人の教員が担う授業の弱点を補い、  
具体的な事実から理論へ繋げるボトムアップ式の教育に向けて、  
法律と他分野が絡む社会の問題を取り上げ、  
複数分野の教員が参加してネット上にフォーラムを形成し、  
学生に議論させる分野横断型の授業モデルの提案。



## [法学系分野：法政策フォーラム型授業モデル]

### Phase I

検討課題の提示とその課題にまつわる基本的事項の共通認識の獲得

#### ネット上

**[Forum 1] 検討課題の提示**  
法律学以外の分野も含めた、  
多方面から検討すべき社会的課題を提示してもらう。

#### 想定される検討課題の提供者

- ・ Webサイトなどで法政策的課題を検討している「専門家」
- ・ 社会生活等において法政策的問題に疑問を持つ「一般市民」
- ・ 補助的に、「教員」も話題提供の準備はしておく

#### 教室内

**[演習 1] 認識の共有**  
教室内での授業において、  
課題を検討するために必要な基本的情報を確認する。

#### 想定される授業内容

- ・ 課題を検討するために必要な法令・判例・用語・概念などの基本的知識を確認し共有するための、講義または小グループでの学びあい

#### 求める力

調査力、情報リテラシ

## [法学系分野：法政策フォーラム型授業モデル]

### Phase II

論点に関する準備的な討論と問題の整理

#### ネット上

**[Forum 2] 論点に関する準備的討論**  
フォーラム参加学生は、演習1で得た知識を活用して、  
論点や適用すべき規範を探すための最初の討論をする。

#### この段階で期待される討論

- ・ 発想力や分析力の涵養を目的とする討論を期待する。
- ・ 演習1の結果を踏まえて、検討すべき論点や規範をみつける。

#### 求める力

発想力、分析力

#### 教室内

**[演習 2] 問題整理のための討論**  
フォーラムにおいてされた討論を前提に、  
課題解決のための現時点での議論の到達点を確認する。

#### 想定される授業内容

- ・ すでに研究者などによってなされた議論の到達点を確認する。
- ・ 既存の学術成果を正確に収集して内容を理解する力を養う。
- ・ それぞれの立場ごとに小グループに分かれてもよい。

#### 求める力

読解力、分析力

## [法学系分野：法政策フォーラム型授業モデル]

### Phase III

課題解決を目指す最終的討論とその結論の社会への発信

#### ネット上

【Forum 3】 課題解決を目指す最終討論  
フォーラム参加学生は、それぞれの立場の立論をし、  
意見の相違点を把握して調整するための  
最終的な討論をする。

#### この段階で期待される討論

- ・それぞれの学生（グループ）が解決策をぶつけ合う。
- ・正確で説得力のある立論を期待する。
- ・相互の意見の相違点を把握し、適切に調整することを期待する。

#### 求める力

論証力，説得力，調整力

#### 教室内

【演習 3】 課題解決の最終案のとりまとめ  
フォーラムでの最終的討論を踏まえて、  
社会に発信する課題解決の最終案をとりまとめる。

#### 想定される授業内容

- ・討論の結果について、複数の案を正確かつわかりやすく併記するなど、適切にとりまとめる能力を養う。
- ・解決の最終案を社会に発信する形式と方法を理解する。

#### 求める力

表現力

## [法学系分野：法政策フォーラム型授業モデル]

### ■ 具体的な授業運営について

#### スケジュール

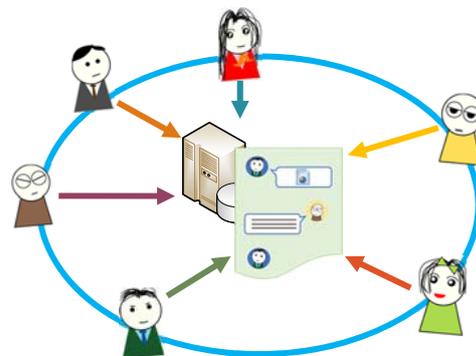
大学ごとの授業回数と開始週のばらつき

初回は「ガイダンス」、最終回は「振り返りと評価」

各フェイズに数週を充て、  
一つの課題の検討に3～5週を要すると想定

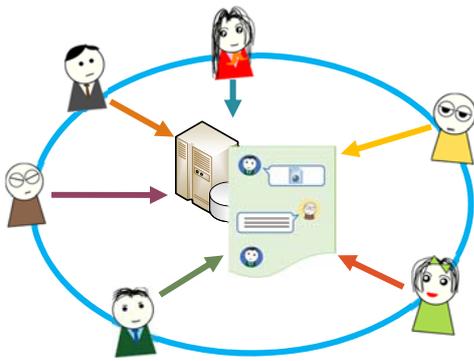
半期に3～4テーマを取り扱う。  
複数テーマの並行進行や議論の分岐も可能とする。

すべての週をフォーラム型授業に充ててもよいし、  
部分参加でもよい。



## [法学系分野：法政策フォーラム型授業モデル]

### ■ 具体的な授業運営について



#### 2018年度の試行計画

法律学教育FD/ICT活用研究委員会のメンバーでテスト運用

神奈川大学（拠点）

京都産業大学

非同期型の電子会議室  
（ファシリテーターつき）

桐蔭横浜大学



同期型オンラインミーティング

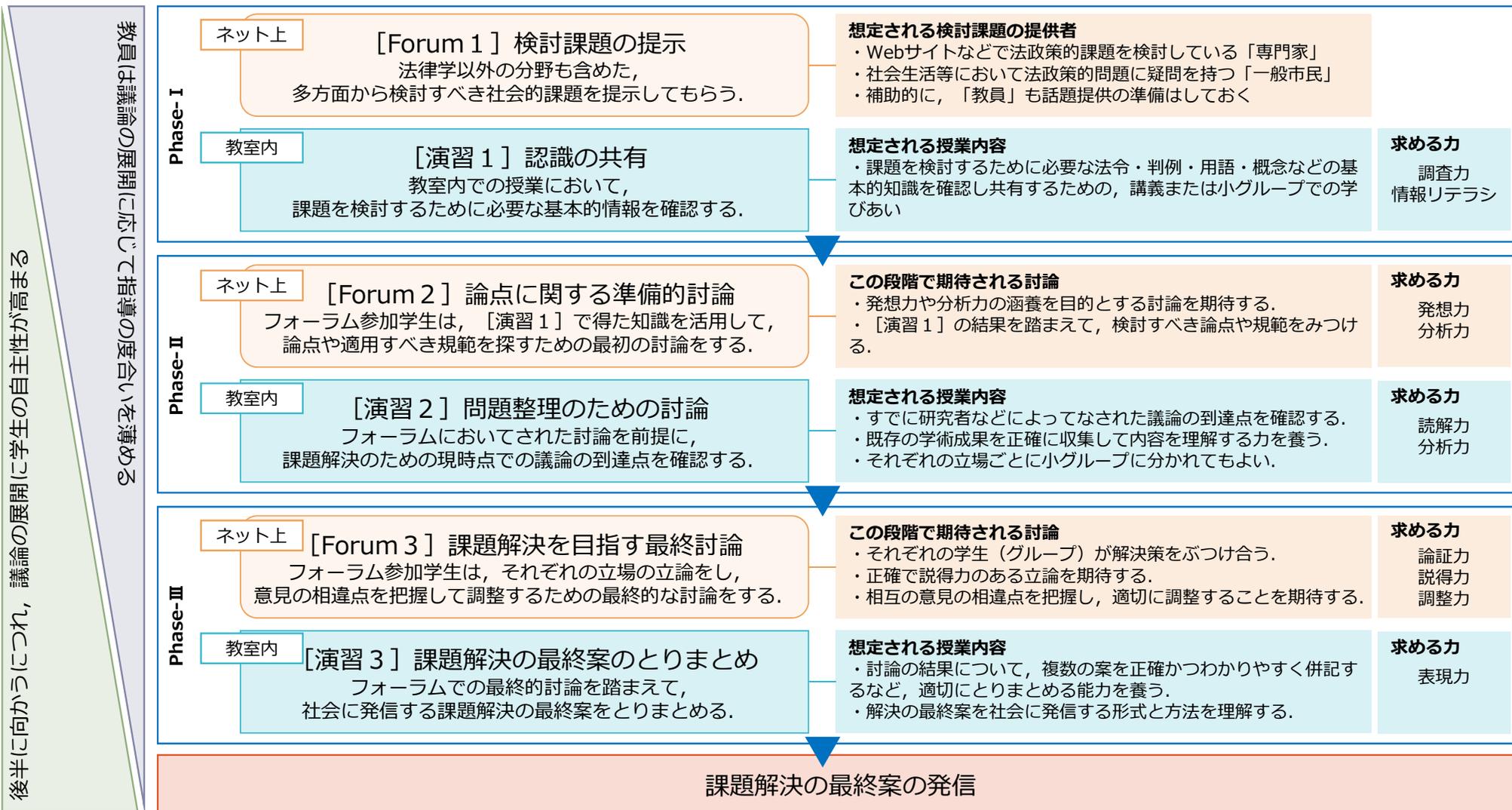


ToshihiroNakamura 2017



kotobuki@kanagawa-u.ac.jp

# 法学系分野「法政策フォーラム型授業モデルの運用」



※ 一つの課題について 3～5週間を使う想定